

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号:3612 東証プライム市場)
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一
 (電話番号:IR室 03-6887-1300)

2023年3月期 (2022/4/1~2023/3/31)		上期							下期					通期			
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term		
売上前年比		伸び率(%)															
国内小売売上	※1・5	127.7	※6 149.8	112.3				128.4									128.4
店舗売上	※2・5	124.1	※6 156.2	108.3				127.1									127.1
既存店売上	※3	119.5	※6 150.7	109.3				124.7									124.7
Eコマース売上	※4・5	144.7	※6 127.7	130.2				133.9									133.9
店舗数		店															
月末(期末)小売店舗数	※2・5	2,364	2,358	2,353				—									—
出店		14	1	0				15									15
退店		11	7	5				23									23
M&A		0	0	0				0									0
既存店対象店舗数	※3	1,569	1,577	1,577				—									—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を日処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております(ただし、緊急事態宣言に伴う臨時休業店や営業時短店は既存店の対象としております)。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2022年3月より連結子会社となった株式会社ワールド(以下「ナルミヤ」と言います)の単体売上(店舗やEコマースの小売売上)や店舗数(680店舗(2022年3月時点))を含んでおりますが、当社の既存店売上には2023年2月迄の12か月間は含みません。

※6 2022年5月の国内小売売上前年比が149.9%から149.8%へ、店舗売上前年比が156.4%から156.2%へ、既存店売上前年比が151.1%から150.7%へ、Eコマース売上前年比が127.8%から127.7%に修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況) 休日数(前年差) 当月 前年同月

当月は、国内小売売上が前年同月比112.3%となり、内訳は店舗売上が同108.3%、Eコマース売上が同130.2%でした。既存店売上は前年同月比109.3%となりました。休日数の前年差はございません。
 また、コロナ禍前の2019年6月比較では76.7%でした。なお、ナルミヤ連結影響は、国内小売売上で17.6%ポイントの押し上げ効果でした(既存店売上にはナルミヤ連結影響を含んでおりません)。
 当月は、店舗販路において、昨年の緊急事態宣言の延長の反動もあって首都圏・近畿エリアを中心に店頭へ客足が戻ってきたほか、下旬には記録的な気温上昇と早い梅雨明けを後押しされる形で本格的な夏物商戦へと移行しました。
 EC売上も前年同月比130.2%と堅調でした。ナルミヤ連結効果(+23.7pp)と終息ブランド影響(-5.3pp)の特殊要因を除くと、EC販路は雑貨品揃え拡充などを追い風にして前年比12%増と2か月振りに二桁成長を回復しました。
 外出需要のアップから服飾雑貨への広がりが鮮明でした。お出かけ着は価格・販路を問わず全般的に堅調さを保持したほか、ジュエリー「ココジュニック」の一段の伸張に続き、「エスペランサ」のサンダルや「ヒロフ」のバッグなども活発でした。
 アイテム別では、夏物商戦の本格化を裏付ける格好で、アパレルで洗える・UVケア等の機能素材をオンした一枚着のブラウスやカットソー、雑貨ではアイスループ、ハンディファン、遮光折り畳み傘など涼をとる盛夏品が好調に推移しました。

お知らせ: 2023年3月期第1四半期決算発表(Tdnet及びホームページでの開示)は、8月3日(水)の予定です。

(参考: 前期実績)

2022年3月期 (2021/4/1~2022/3/31)		上期							下期					通期		
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		261.8	143.9	77.6	87.8	72.4	76.5	98.1	85.0	94.1	92.8	95.0	75.3	109.8	92.9	95.2
店舗売上		399.1	169.8	75.9	88.8	70.7	72.7	100.5	84.3	91.7	92.3	93.8	73.8	106.9	91.5	95.3
既存店売上		433.7	182.9	80.0	94.4	76.2	84.1	107.5	99.0	107.3	110.2	111.7	84.9	101.8	103.3	105.2
Eコマース売上		99.4	94.6	86.1	83.7	79.8	96.1	89.5	89.2	106.6	94.8	99.6	80.3	124.1	99.4	94.6
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,169	2,160	2,146	2,067	1,831	1,820	—	1,819	1,810	1,809	1,749	1,716	2,361	—	—
出店		19	2	2	1	4	9	37	8	1	0	1	1	9	20	57
退店		5	11	16	80	240	20	372	9	10	1	61	34	44	159	531
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	680	680	680
既存店対象店舗数		1,930	1,930	1,925	1,852	1,610	1,592	—	1,606	1,602	1,615	1,555	1,521	1,527	—	—